

令和6年度 第2回河原地域振興会議議事概要

日 時 令和6年5月29日（水）13時30分～15時00分

場 所 河原町総合支所

〔出席委員〕

竹田賢一、奥谷仁美、下田和実、西谷美智子、木下 敬、田村 稔、楮原典子、林 昭男、浅田義昌（順不同）

〔欠席委員〕

山下教幸、坂本綾子、中村佳紀

〔事務局〕

九鬼支所長、前田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、岡本産業建設課長、浜部市民福祉課長、吉田地域振興課課長補佐

〔説明者〕

米田危機管理課係長、益田危機管理課主任

〔傍聴者〕

なし

会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - 1) 本市の災害対策について
 - 2) 河原地域未来プランについて
 - 3) 地域振興会議視察について
- 4 その他
- 5 閉 会

議事概要

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - 1) 本市の災害対策について

説明者：米田危機管理課係長、益田危機管理課主任

【委 員】 水害だけでなく地震もたびたび起こるが、その時備蓄場所まで行けないこともあるが、その時の対策はどうだろうか。

【説明者】 より近いところからお渡しできるよう、支所や学校にも備蓄品を置いています。また、県のほうでもドローンの活用も積極的に検討しているところです。

【委 員】 災害発生の場合、災害関連死の審査会などは開かれるのか。

【説明者】 本市でも災害関連死の審査会を開くことは考えられます。大きな災害の後は必ず検証会議の設置を行い、災害対策が適正であったかどうか都度検証し、次の災害に備えています。

- 【委員】 緊急伝達手段についてだが、戸別受信機が以前は各家にあった。実際、ラジオが機能しているのかという声をよく聞く。屋外スピーカーでは聞こえづらい。地区要望や部落要望もしているが、1カ所ではなく2カ所配置は可能か。
- 【説明者】 スピーカー同士が近いとハウリングが発生する可能性が出てきて逆に聞こえづらくなります。ただし、角度とかの調整は可能ですのでご相談ください。防災ラジオは広域に効率よく情報伝達でき、CATV回線からも受信できるため有効と考えています。今後も、緊急情報伝達手段についてはアップデートするよう努めます。
- 【委員】 屋外スピーカーの電池はどのくらいもつのか。
- 【説明者】 仕様では、24時間は持ちますがこれは音声を流しっぱなしの場合であり、通常使用の頻度では3日程度はもつと想定しています。
- 【委員】 屋外スピーカーにはマイク機能もあります。知らない人も多いからそれを使いたい。
- 【委員】 猿対策にも有効に使いたい。
- 【委員】 避難命令は命令口調だった。効果的だと思う。

2) 河原地域未来プランについて

説明者：九鬼支所長

- 【委員】 たたき台を作ってもらえるのか。
- 【事務局】 そうです。そのたたき台をもとに練り上げていってほしいです。大きなジャンルごとに具体的な事業を紐付けていきます。全部は網羅しませんが、特に課題になっているものをピックアップしていきたいと考えています。
- 【委員】 予算はつくのか。
- 【事務局】 予算については、要望はそれぞれ、個別に関係する本課に相談・要望していく流れとなります。
- 【事務局】 他計画とダブる部分は当然ありえます。より具体的な提案を出してほしいです。
- 【委員】 市の第11次総合計画との関係性はどうか。
- 【事務局】 11次総には細かいところまでの記載はないです。河原地域の振興に関する部分のみに焦点を当てて、より具体的な部分について、地域の特色を出していければと考えています。
- 【委員】 河原地域限定で可能な内容を盛り込むのか。中長期の将来の展開を見越したうえで、支所だけではなく本課・国・県を巻き込んだ部分まで計画に入れ込むのか。
- 【事務局】 地区要望と未来プランは違います。あくまで河原地域の振興に焦点を当てて載せていきます。
- 【委員】 どこまでのレベルをプランに盛り込むのか。上を巻き込むようなことをしないと例えば因美線の複線化などとか。そのあたりのレベル感やイメージについて教えてほしい。
- 【事務局】 そのような大きな事業の進捗管理はここでは出来ませんので、あくまで会議体の中でできるレベルのものになります。
- 【委員】 大きなことは出来ないのでは、という懸念を持っている。

- 【委員】 振興会議は諮問機関であり決定機関ではない。大きな目標立てをしてもこの会での実現は難しい。ここだけでできるようなことで例えば、あゆのまちの振興などの現実可能な目標でよいではないか。
- 【委員】 新地域振興ビジョンが未来プランとなってどのように変わるかの。目標は何年か。具体的なデータが掲載されるようなので、それを前提としてどうしていったらよいのか。過疎地域とそうでない地域との格差を知る上でもデータが前提となるのではないか。
- 【事務局】 ビジョンの10年は長いのでせめて5年でとも思います。今後検討してみます。
- 【委員】 全体のバランスもあるだろうが、市全体として優先して予算付けがあるのか。予算や権限の裏付けがないと、作ったは良いが絵空事になりはしないか。
- 【委員】 人口減少は大きな問題である。そういう前提でのまちづくりが必要だ。河原町をどうしていくか。町の中でも地域差があろうが課題は似たようなものではないか。住み続けられるまちづくりはどうしたらよいか。
- 【事務局】 本年度空き家対策も力を入れていきます。小・中の統合問題もあります。プランは随時途中で変えていくことは可能です。

3) 地域振興会議視察について

説明者：吉田地域振興課課長補佐

- 【委員】 視察はいつ頃を計画しているか。
- 【事務局】 10月末あたりを予定しています。
- 【委員】 ユニセフの子供にやさしいまちづくりの取り組みは全世界でやっており、国内では、奈良・町田など5都市で行っている。具体的には、ユニセフと共同してこども会議やこどもの意見を聞き、子どもにやさしい条例を作ったり、支援事業計画等を作っている。

4 その他

説明者：九鬼支所長

- 【委員】 河原町コミュニティセンターについてですが、6月末に基本設計の発注予定です。また、隣接する老朽化の進んだ歴史民俗資料館で年6回くらいの伝統行事を行っている運営団体に相談したところ、この行事は引き続き続けていきたい意向があるようです。そこで現在の案として、備え付けの調理室でガスの調理で行事の施行も可能なのですが、大きな和室の中の一部に囲炉裏・神棚を作るほか、50平米程度の土間の別棟を作り、竈を設置しようと考えているところです。
- 【事務局】 今は萱ぶき職人もいない。やはり常時いろりを使わないと萱ぶき屋根はもたない。

5 閉 会